

第6回ため池シンポジウム in 佐渡

いのち豊かな水の風景のマネジメント

ため池、水路、田んぼなど、暮らしと深いかわりにあった
水の多様な恵みを認識し、地域のcommonsとして再生しよう！



お気軽にご参加ください

新潟県佐渡市
2011年11月5日(土)～6日(日) 岩首・赤泊エリアで開催

第1日目(11月5日)

10:00 民話の里 赤泊のため池散策
サンライズ城が浜出発・昼食代 1000 円
13:30 ため池シンポジウム開会の挨拶(岩首談義所)
14:00 岩首棚田ハイク
15:00 ため池談義(岩首談義所)
17:00 終了

第2日目(11月6日)

10:00 パネルディスカッション「日本文化の水管理」(岩首談義所)
話題提供1「ため池シンポジウムの軌跡」
岡田真美子さん(兵庫県立大学教授・環境宗教学)
話題提供2「佐渡市の GIAHS の取り組み」
佐渡市担当者
意見交換
12:00 終了

【主催】第6回ため池シンポジウム実行委員会 【後援】佐渡市, 新潟県佐渡地域振興局
【協力】あかどまり演劇研究会, サンライズ城が浜, 環境省佐渡自然保護官事務所, 岩首談義所, ローカル・commons再生研究所
【参加申込・問合せ先】兵庫県立大学環境人間学部・豊田光世 (toyoda@shse.u-hyogo.ac.jp) 079-292-9410

第 6 回ため池シンポジウム in 佐渡のご案内

1. 開催趣旨：

稲作文化とともに発展してきた日本の国土は、水の豊かな風景が特徴的です。しかし、先人から伝わる国土マネジメントの知恵は、産業化とともに徐々に継承が困難となり、日本の水の風景が衰退しつつあります。ため池、田んぼなど、暮らしと深いかわりにあった水の多様な恵みを認識し、地域のコモンズとして再生していくことが求められています。

トキの野生復帰に取り組む佐渡島では、「生物多様性の保全」をキーワードに、美しいのち豊かな里山を後世に伝えるための取り組みが進められてきました。2011 年、佐渡は GIAHS（世界農業遺産）として登録されることが決定し、持続可能な農業モデルを世界に発信すべく新たなスタートを切ったところです。本シンポジウムでは、佐渡をフィールドとして、いのち豊かな水の風景のマネジメントについて学び、考えます。ぜひ、ご参加ください。

2. 開催概要：

①. 開催予定日：平成 23 年 11 月 5 日～6 日

②. テーマ：文化資産としての田んぼと水のマネジメント

③. 内 容：

➤ 第一日目 11 月 5 日（土）（天候により変更になる場合があります）

10:00 フィールドワーク 1 「民話の里のため池散策」

サンライズ城が浜出発→赤泊のため池見学（鰐清水など）→岩首へ移動→昼食

13:30 ため池シンポジウム開会の挨拶（岩首談義所）

14:00 フィールドワーク 2 「岩首棚田ハイク」

約 1 時間のダウンヒルハイキング

15:00～17:00 ため池談義（事例報告・意見交換）

「いのち豊かな風景を育む水の管理」会場：岩首談義所

18:30～交流会 会場：サンライズ城が浜

あかどまり演劇研究会による民話風狂言とかたり部を鑑賞

懇親会

➤ 第二日目 11 月 6 日（日）

10:00～12:00 パネルディスカッション「日本文化の水管理」（岩首談義所）

話題提供 1 「ため池シンポジウムの軌跡」岡田真美子（兵庫県立大学環境人間学部教授）

話題提供 2 「佐渡市の GIAHS の取り組み」佐渡市担当者

意見交換

パネリスト：岡田真美子、佐渡市担当者、大石惣一郎（岩首談義所） ほか

④. 主催：第 6 回ため池シンポジウム実行委員会

⑤. 協力：あかどまり演劇研究会、サンライズ城が浜、環境省佐渡自然保護官事務所、岩首談義所、ローカル・コモンズ再生研究所

⑥. 後援：佐渡市、新潟県佐渡地域振興局

⑦. 宿 泊：サンライズ城が浜（1 泊 2 食付き 7,710 円）

2011 年 10 月 14 日

3. 参加申し込み

以下の申込書に記入の上、ファックスかメールでお申し込みください。

5 日 ①フィールドワーク 1（昼食込み、参加費 1,000 円）

②フィールドワーク 2・ため池談義

③交流会（参加費 3,500 円、宿泊者は無料）

6 日 ④シンポジウム

氏名	性別	住所	TEL	参加・宿泊希望（○印をつけてください）					
				①	②	③	④	4 日 宿泊	5 日 宿泊

宿泊はサンライズ城が浜

1 泊 2 食付き 7,710 円

申込書送付先：

第 6 回ため池シンポジウム事務局

兵庫県立大学環境人間学部（講師）・豊田光世

FAX 079-292-9410

Email toyoda@shse.u-hyogo.ac.jp